
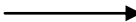


















冬野菜の生育状況と2月の価格見通しについて（2月1日現在）
 （東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
葉 茎 菜 類	厳しい低温により生育遅延。
果 菜 類	生育は順調。ただし、ピーマンは生育遅延。
土 物 類	収量は平年並。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年2月の入 荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			2 月 前 半	2 月 後 半
だ い こ ん	神奈川(61%) 千 葉(27%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、前半は、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 後半は、一部の主産県においてトンネル栽培の出荷量が増加してくることに伴い、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
に ん じ ん	千 葉(73%) 埼 玉(11%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることから、前半は、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 後半は、降雪等により収穫作業が遅れていたものがでてくることに伴い、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		

はくさい	茨城(66%) 群馬(18%)	厳しい低温により生育が遅れて小ぶり傾向になっていることに加え、降雪等により傷みが進んでいることから、 <u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
キャベツ	愛知(62%) 千葉(20%)	厳しい低温により生育が遅れているものの、一部の主産県において、 <u>昨年の不作を受けて作付けを増やしていることから、出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
ほうれんそう	群馬(30%) 茨城(23%)	厳しい低温等により生育がやや遅れているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
ねぎ	千葉(36%) 埼玉(25%)	厳しい低温や降雪等により傷みが若干でているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>		
レタス	静岡(34%) 香川(11%)	厳しい低温により生育が遅れていることに加え、一部の主産県において生育期の多雨で根傷みとなって生育不良になっていることから、 <u>出荷数量は平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u>		
きゅうり	宮崎(28%) 千葉(21%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		
なす	高知(60%) 福岡(18%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>		

トマト	熊本(34%) 栃木(17%)	生育は順調であり、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
ピーマン	宮崎(32%) 高知(20%)	低温により生育が緩慢になっているものの、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み。</u>	→	→
ばれいしょ	北海道(71%) 鹿児島(18%)	北海道において収量は平年を上回り、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u>	↘	↘
さといも	埼玉(31%) 千葉(29%)	収穫は概ね終了しており収量は平年並であることから、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(80%)	北海道において収量は平年並であるが、海外からの輸入が続いており、 <u>出荷数量が平年を上回るため、価格は平年を下回る見込み。</u> ただし、今後、海外からの輸入動向によっては、価格は平年並になる可能性。	↘	↘